取扱説明書番号
D166-RGXZ

室内用

RHYTHM

電波時計　取扱説明書
（デジタル電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元 リズム時計工業株式会社
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1503)

GUARANTEE 保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

●保証書は再発行いたしません。
●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※品名・型番　8RZ166

※保証期間
お買い上げ　年　月　日より１年間

お客様ご氏名　様

ご住所

TEL（　）　ー

※販売店印（住所、店舗名、電話番号）

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。
次の記載事項と保証書をよくお読みのうえでご利用ください。

●修理部品の保有について
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00　（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ166」をお伝えください。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケースなどの小キズ）。
8.電池の交換。
※送料・出張料は、実費をいただきます。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⦸は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず実行することを示しています。

⚠警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る　誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止　電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●電池に傷をつけない。
●電池を分解しない。
●電池を加熱しない。
●電池を火の中に入れない。

電池が液漏れしたときは、素手でさわらない
●電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●液漏れしたときは、電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る　電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

分解禁止　分解や改造をしない
故障や破損の原因になります。

禁止　落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

濡れた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

禁止　下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●暖房機器などからの風が当たる所。
●火気のそば。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プールや温泉場など、ガスの発生する所。
●調理場など、多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●幼児の手が届かない所に置く 。
●種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

●電池の寿命は温度などの使用条件により、製品仕様より短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。
標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。**

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

項目	仕様
使用温度	−10 ～50℃　*結露しないこと
液晶表示可読温度	0～40℃
時間精度	標準電波受信成功直後　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（温度が5～ 35℃のとき）
使用電池	単３形マンガン乾電池 JIS 規格 R6P　2 個
電池寿命	約1年 アラーム：30 秒 / 日鳴らしたとき
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局／九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信 ON/OFF	ボタン操作にて切替可能

標準電波受信開始時刻
1時から4時、13時から16時の各時間帯16分40秒に開始。

項目	仕様
アラーム機能	設定した時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
アラーム音	電子音　鳴り方が変化
オートストップ機能	鳴り出してから5分間で自動鳴り止め
スヌーズ機能	アラーム音を約5分間一時停止
カレンダー	2015～2099年対応
六曜	2030 年まで対応
防塵防滴	なし
温度表示	−9.9 ～ 50℃
温度精度	±2℃
湿度表示	20～95%RH 温度が5～50℃のとき
湿度精度	±10%RH　%RH は相対湿度を表す
測定間隔	約1分

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0～40℃になれば、正常に戻ります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※単3形アルカリ乾電池を使用することができますが、マンガン乾電池と混ぜて使わないでください。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　取扱説明書・保証書　本書

電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

（正面）

⑦ 液晶表示部

温度／湿度
測定できないときの例

HI ℃ - - %	50℃より高温
LO ℃ - - %	−10℃より低温
49.9℃ HI %	95%より高湿
5.8℃ LO %	20%より低湿
-9.0℃ - - %	湿度測定不能

湿度は温度が5~50℃のとき測定

⑤ ④ ③ ② ①

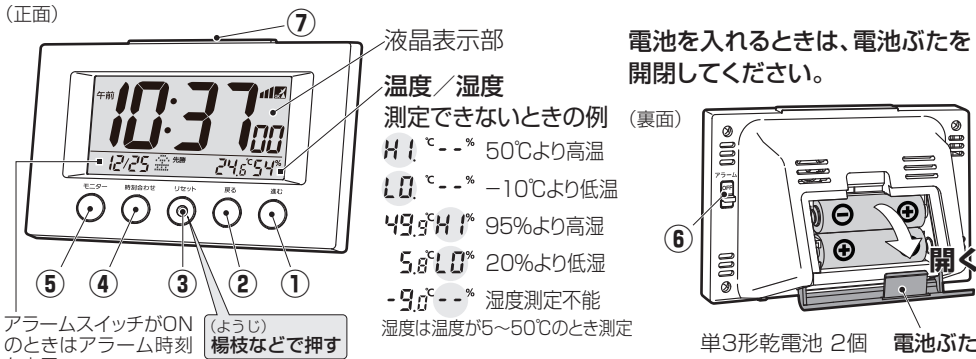
アラームスイッチがONのときはアラーム時刻を表示

（ようじ）楊枝などで押す

電池を入れるときは、電池ぶたを開閉してください。

（裏面）

⑥ 開く

単3形乾電池 2個　電池ぶた

液晶表示は、見る方向により、薄くなったりむらに見えることがあります。照明時は上方より見てください。

⚠注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

■ 操作ボタン・スイッチの機能　1つのボタンに複数の機能が割り当てられています。

①進む ②戻る
1)アラーム時刻の設定状態にする
2)アラーム時刻、日時設定での数値設定

操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

3)強制受信（受信機能がONのとき）
進むと**戻る**を同時に2秒間押し続けると受信を開始します。
4)受信機能のON/OFF切り替え
進むと**戻る**を同時に8秒間押し続けるとONとOFFが切り替わる。

③リセット 日時とアラーム時刻の初期化、電波受信機能をONにする

④時刻合わせ
1)手動での日時設定状態にする
2)日時設定状態で数値の確定
3)12/24時間表示切り替え
押してすぐ離すと時刻の表示形式が切り替わる。

⑤モニター アラーム音の試聴　押している間鳴る

⑥アラームスイッチ アラームのON/OFF切り替え
ＯＮ：設定した時刻に鳴る
OFF：鳴らさない、止める

⑦スヌーズ
1)スヌーズ機能　アラーム音を約5分間一時停止。
2)照明　押している間と離してから約5秒間液晶表示部を照明。

時計の状態は、①日時、温湿度を表示している**通常状態**　②受信マークが点滅している**受信状態**　③アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している**アラーム状態**　④アラーム時刻の**設定状態**　⑤手動での日時**設定状態**があります。状態によっては、無効になるボタン操作があります。

1. 使いはじめるとき（電池を交換するとき）　電池を入れて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、（手動での時刻の合わせ）をお読みください。

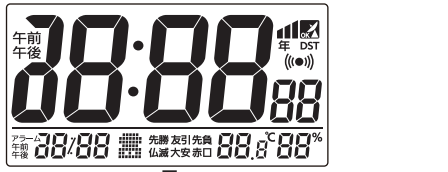
【受信の流れと表示】
〈リセットを押した直後〉

午前 午後 88:88 88

↓ 受信マーク
〈受信開始〉（受信中点滅）

日時、アラーム時刻の初期化
日時 2015年1月1日、午前12:00
アラーム時刻 午前6:00

月日 曜日 六曜 温度 湿度

アラームスイッチ ON：アラーム時刻を表示
曜日、六曜を表示しない

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

○電池入れたときや**リセット**を押すと「ピー」と鳴ります。

① **電池を入れる**
② **リセットを押す**
受信マークが点滅し受信を開始します。
◎ **受信中はボタンに触れないでください。**
③ **20分待って受信結果を確認する**
受信は、最長で20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

電波の受信中に**モニター**、**進む**、**戻る**のいずれかを押すか、**時刻合わせ**を約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

受信できない ❶ ❷ ❸ ❹ 受信しやすい

チェック！
1~2分経過しても❶または❷の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセット**を押して再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架構近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

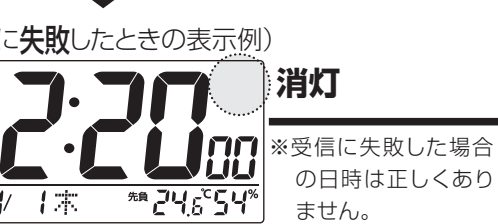
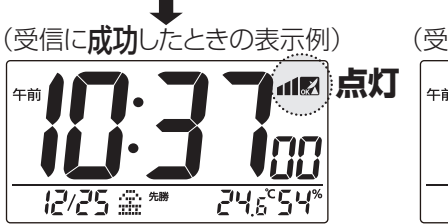
〈受信終了〉
最長20分後

（受信に**成功**したときの表示例）

点灯

（受信に**失敗**したときの表示例）

消灯

※受信に失敗した場合の日時は正しくありません。

○受信マークが点灯し受信成功を示しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてから**リセット**を押して再度受信を試みてください。
○受信マークは、受信成功後 24 ~ 25 時間点灯します。

電池の交換について　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠注意 **電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。**

- 液晶表示が薄くなったり、表示の一部が欠けたときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと午前/午後表示付きの12時間と24時間表示が切り替わります。

（12時間表示）

午前12:00 00~11:59 59
午後12:00 00~11:59 59

⇄

（24時間表示）

0:00 00~23:59 59

アラーム時刻設定状態、日時設定状態、アラーム状態、受信状態のときは表示の切り替えができません。

六曜について

- 六曜は慣習として使用されていますが、公的な機関が定めたものではありません。
- 六曜は2030年まで表示し、それ以降は表示しません。

2. アラーム機能の使いかた

-1. アラーム時刻の合わせかた

①**アラームスイッチ**を**OFF**にする
アラーム状態のときは設定できません。
②**進む**または**戻る**を押して離す
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
③**アラーム時刻を合わせる**
進むまたは**戻る**を押してアラーム時刻を合わせます。
④**アラーム時刻合わせを終わる**
約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わり、アラーム時刻から日付表示に変わります。

表示例　アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。

アラーム 午前

アラーム時刻を表示しているときは曜日、六曜を表示しません。

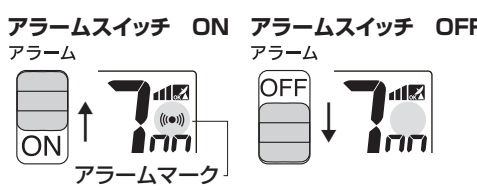
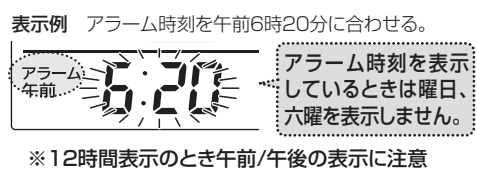
※12時間表示のとき午前/午後の表示に注意

アラームスイッチ　ON　**アラームスイッチ　OFF**

アラーム ON ↑　アラーム OFF ↓
アラームマーク

-2. アラームスイッチのON/OFF設定

ON：設定時刻にアラームが鳴る。
ONにするとアラームマークが点灯。
アラーム時刻が3秒点滅後に点灯表示。

OFF：アラームを止める、鳴らさない。
アラームマーク消灯、日付・曜日・六曜を表示。

スヌーズ機能と照明機能

アラームが鳴っているときに、**スヌーズ**を押すとアラーム音が5分間停止してからまた鳴り出します。7回まで繰り返し使えます。8回目からはスヌーズ機能は使えません。

スヌーズは照明スイッチも兼ねています。**スヌーズ**を押している間と離してから約5秒間照明が点灯します。照明しているときは、正面上方より見てください。他方からはよく見えません。

アラーム音の試聴

モニターを押している間アラームが鳴り続けます。
※アラーム時刻、日時設定状態、アラーム状態のときは使えません。

アラームオートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラーム音を約5分間放置すると自動停止します。

■アラームご使用上の注意

アラームスイッチが ON のときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラームスイッチを OFF にしてください。

温度／湿度について

温度は -9.9 ~ 50℃の範囲、湿度は温度が 5 ~ 50℃のときに20~95% RH の範囲で表示します。測定範囲を超えたり、測定できないときは HI や LO 、-- を表示します。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。
※センサーが時計内部にあるため、周囲の温度、湿度の変化をすぐには反映しません。
※厳密な温湿度管理や温湿度の証明、商取引には使えません。

標準電波が受信できないとき

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
電波が受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時/分/秒）でのボタン操作　操作例 2015年12月25日午前10:37に合わせる

点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。
※⑤または⑥で**進む**または**戻る**を押すと00秒になります。

- アラーム時刻設定状態やアラーム状態のときは、日時の設定はできません。
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 受信機能がONのときは、受信に成功すると日時は自動的に修正されます。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

①

②年

③月 ④日

⑤時　⑥分⑦秒

①**時刻合わせ**を「ピィ」と鳴り、西暦年が点滅するまで約2秒間押し続ける。
②**年を合わせる**
③**月を合わせる**
④**日を合わせる**
⑤**時を合わせる**
⑥**分を合わせる**
⑦**秒を合わせる**
以上で日時の設定が終わりました。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波を受信できないときや誤受信しやすい所で使うとき、意図的に日時を変えて使うときは、電波を受信しないようにすることができます。

ＯＮ：受信機能有効　定時に受信を行う
OFF：受信機能無効　電波を受信しない

操作　**進む**と**戻る**の2つのボタンを同時に約8秒間押し続けると「ピピィ」と鳴り、日付表示部に On または OFF が3秒間表示されます。
○切り替え操作中は受信マークが点滅します。
○ONからOFFに切り替えるときは、2秒経過したときに強制受信になるため「ピィ」と鳴ります。
○OFFからONに切り替えると受信を開始します。

※アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは、切り替え操作ができません。
※電池を入れ替えたりリセットを押すと、受信機能はONになります。

強制受信とリセット操作

強制受信（受信機能がONのとき）
場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。
操作　**進む**と**戻る**の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると受信マークが点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは強制受信を行いません。

リセット
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2015年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。